

「あいさつ運動」を活用した 高齢者の支え合いと生きがいの創出



【蓬来学区】

■世帯数：3,592 世帯

■人 口：8,159 人

■面 積：0.848km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 高齢者が近隣の人たちとあいさつを交わし合うことを通して、互いに支え合う関係を構築するとともに、新たな生きがいの創出を図る。
- ・ 「学区あいさつ運動」を立ち上げ、あいさつ運動ののぼり旗を持った運営メンバーが、高齢者を訪問してあいさつを交わすとともに、高齢者に運動への参加を呼びかける。
- ・ 高齢者が「あいさつ運動」の一翼を担い、近隣を一巡した後で効果を検証する。
- ・ 平成 24 年度の延べ参加者数は約 80 人。

【住民へのPR方法】

広報誌「よもぎだより」の各戸配布

【アピールポイント】

単なるあいさつ運動ではなく、高齢者が「学区あいさつ運動」の隊列に加わって、道行く人たちに「みなさん、あいさつをしましょう」と呼びかけることを通して、支え合いの基になる知り合いをつくとともに、参加した高齢者自身の生きがいの創出をめざしている。

2 きっかけ、背景

高齢者を初心者向けの講座に誘うと、「参加費がかかるため行きたくない」と答え、それならばウォーキングはどうかと誘うと「骨折り損のくたびれもうけ」

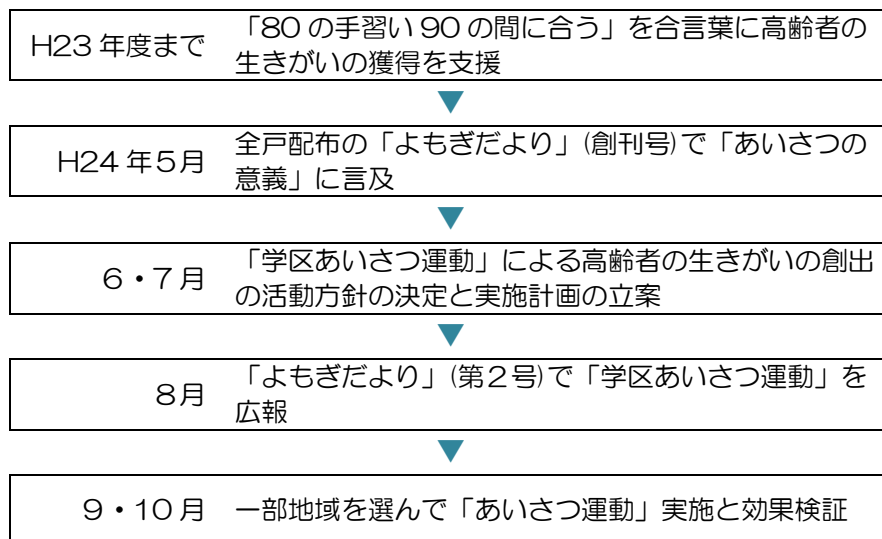
と答える人がいる。そのような高齢者が参加しやすく、生きがいを獲得するにはどうしたら良いか検討し、「あいさつ運動」を始めることとなった。

3 実施の体制

運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長 計約 15 人

4 実施のスケジュール



5 成果と課題

(1) 成果・効果

運営メンバーが実際に会ってあいさつを交わし、話し合った70歳以上の独居高齢者は、44人だった。このうち、趣味や活動に取り組んでいる人9人、体調不良の人22人、その他用事などのある人7人を除くと、「あいさつ運動」に参加可能な人が6人になった。その6人に「あいさつ運動」の隊列に加わってもらった。事後アンケートで6人全員から「参加してよかった」、また5人から「また参加したい」という反応が得られた。

(2) 苦労した点

対象とした独居高齢者に体調不良の人が予想以上に多く、「あいさつ運動」への参加者の人数を十分に得ることができなかった。

(3) 今後の課題・展望

今回実施した「あいさつ運動」をさらに検討し、工夫して、高齢者の支え合いと生きがいの創出に繋げていきたい。